



3月5日 第43回卒業式が行われました。卒業生は、五泉市長田邊正幸様、五泉市教育委員会藤木由佳子様をはじめとする多くのご来賓の皆様、保護者の皆様、在校生に見送られ、胸を張って学び舎を巣立っていきました。

<送辞 在校生代表>

校舎の窓から見える山々の峰の雪も溶け始め、春の訪れを感じる季節となりました。

この良き日に、多くの希望を胸に、五泉北中をご卒業される105名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

新型コロナウイルスによる活動の制限も大幅に緩和され、生徒会スローガン「百花繚乱」のもと、三年生の皆さんは、私たちの先頭に立ち、新たな北中の伝統を築き上げてくださいました。

春、一年生を迎え、北中は活気にあふれました。部活動や生徒会での皆さんの姿は、私たちの手本となり、切磋琢磨し、互いに高め合うことの大切さを教えていただきました。

夏、各軍が、勝利に向けて、突っ走った大運動会。スローガンは「三革の闘魂」。夏休み前からパネル制作や応援パフォーマンスの練習に、熱が入っていました。当日は、競技や応援合戦、そして二年目となるダンスに、初めから最後まで、全力・笑顔で、熱い闘いをリードしてくださいました。そして、感動のフィナーレ。最後にお互いを称え合った応援合戦の光景は、今でも忘れられません。その姿から、仲間と共に、最後まで力を合わせて、やり遂げることの大切さを教えていただきました。

秋、クラスで力を合わせた合唱コンクール。体育館いっぱい、響き渡った歌声は圧巻でした。聴く人の心を魅了し、感動を呼ぶとは、こういうことだと、あらためて教えていただきました。

常に、最高学年として、学校の活動をリードする姿を、私たちに、背中であらためて示してくださいました。皆さんには、感謝の気持ちでいっぱいです。

これから皆さんは、五泉北中学校を卒業し、それぞれの新しいステージに羽ばたいていけます。一人一人の進む道は違って、今日まで、様々なことに挑戦し、やり遂げた自信、仲間と結んだ固い絆は、皆さんが、一步を踏み出す勇気になると、確信しています。

私たち在校生は、皆さんから受け継いだ伝統を守り、さらに発展させていくことを約束します。そして、この北中を地域に愛され、地域の誇りとなる学校にするために、最大限の努力をすることを約束します。

最後になりますが、皆さんの輝かしい未来とご健康、ご活躍を心からお祈りして、送辞といたします。

<答辞>

例年になく暖かい冬も終わり、まもなく春が訪れます。

本日は、厳粛な中にも、心温まる卒業証書授与式を挙げていただき、卒業生一同心よりお礼申し上げます。

只今いただいた校長先生のはなむけの言葉、教育委員会のお祝いの言葉、五泉市長様の祝辞、そして在校生の皆さんの祝福の言葉を胸に、私たち第四十三回卒業生、105名は、思い出深い学び舎を旅立ち、それぞれの進む道に踏みだします。

五泉北中学校で過ごした三年間は、私たちにとってかけがえのない大切な思い出であり、数多くのことを学んだ時間でもありました。

思い起こせば三年前の入学式。新しい友だちとの出会いやこれから始まる中学校生活に胸を膨らませていました。新型コロナウイルスによる制限があり、思うようにいかない日々もありましたが、その中でも、仲間と過ごす日々は楽しく、充実していました。

二年生。後輩の入学で、先輩としての自覚が芽生え、行事や日々の活動を通して大きく成長できたと思います。修学旅行先の宮城県で、被災された方々のお話を聞き、命の大切さについて、深く考えることができました。

そして、最上級生となった三年生。生徒会スローガン「百花繚乱」のもと、新たなことに挑戦してきました。様々な立場や場面で先頭に立ち、責任をもつことの大切さを感じ、日々成長することができました。

その中でも、大運動会や合唱コンクールは私たちを大きく成長させてくれました。仲間と「ともに」活動することの楽しさだけでなく、自分一人では知ることのできない新たな自分や仲間の一面を知ることができました。その発見が、成長の証であると思います。部活動も同じです。仲間や後輩と切磋琢磨していく中で、互いが成長できる大切な時間でした。

学校は、多くの人・出来事との関わりのなかで、お互いを大きく成長させる場であることを実感するとともに、自分も仲間も、代わりのいない、唯一無二の存在であり、大切にしなければならないということも強く思いました。

在校生の皆さん。次は、皆さんが中心となって北中を盛り上げ、創り上げていく番です。今まで私たちと「ともに」に活動してくれて、ありがとう。

地域の皆様。朝の校門や給食の時に、温かい声をかけてくださったり、花壇や校舎内を、きれいな花でいっぱいにしてくださったり、どんな時も私たちを見守り、応援して下さり、ありがとうございました。

先生方、入学してからの三年間、私たちのために時には厳しく、時には熱く指導していただき、今まで温かく応援して下さり、ありがとうございました。

そして、一番近くで私たちを支えてくれた家族の皆さん。私たちをここまで育ててくれてありがとうございます。時に素直になれないこともありましたが、家族がそばにいてくれたおかげで、今日というこの日を迎えることができました。これからも心配させる場面があると思いますが、どうか私たちの一番近くで私たちを見守り続けてください。よろしく願いいたします。

私たちは、多くの方の温かい応援に支えられ、この場に立っています。私たちの門出を、祝ってくれる皆さんに、心から感謝を伝えたいと思います。これから先、未来への希望と夢を捨てずに、それぞれの目標に向かって努力し続けます。

最後になりましたが、五泉北中学校の今後の益々のご発展と、愛情をもって温かく見守り続けてくださいました、校長先生はじめ、諸先生方、地域の方々、家族の方々、そして在校生の皆さんのご健康とご活躍を願い、答辞とさせていただきます。

2月20,21,22日 2年生は関東方面に修学旅行に行ってきました。1日目：スカイツリー見学、クラス別研修 2日目：都内班別自主研修 3日目：東京ディズニーランド 多くのことを経験し、一回り大きくなって帰ってきました。

<修学旅行で学んだこと 修学旅行実行委員長 >

僕は今回の東京の修学旅行で学んだことが三つあります。

一つ目は温暖化についてです。二日目の班別研修で行った上野動物園にはペンギンが飼育されているのですが、実は、地球温暖化などの気候変動の影響を受け、急激に数が減っているそうです。そこで、温暖化について調べてみたら、僕たちにもできることがたくさんあることがわかりました。買い物時にエコバッグ使用したり、誰もいない部屋の電気を消したり、エアコンの温度を調整したり。日常生活をちょっと工夫することでも温暖化対策になります。このことを家族にも話して、温暖化のために、今、僕ができることをしていこうと思います。

二つ目は自分で計画を立てて行動することです。三日目は大好きなディズニーランドでした。僕達は何のアトラクションにどの順番で回れば最も効率よくディズニーランドを楽しめるか事前に下調べを行っていました。おかげで班の全員が乗りたかったアトラクションに全部乗ることができました。これも、事前にきちんと下調べをして、計画していた結果だと思っています。

三つ目は日本の建築技術の素晴らしさです。東京スカイツリーの展望台から見た景色は、本当に高く感動しました。実はスカイツリーは世界一高いタワーとしてギネス世界記録になっています。ただ高いだけではなく、自立式電波塔として、テレビ、ラジオやスマホ向け放送の電波を送信したり、雲や落雷の観測施設としての役割も果たしたりしています。こんなスゴイ建物に実際に登り、触れることができたのは、僕にとってとてもよい経験になりました。

<修学旅行で学んだこと 修学旅行副実行委員長 >

私は修学旅行を通して学んだことが3つあります。

1つ目はクラス別バス研修です。1番初めに東京スカイツリーへ行きました。展望台から眺める東京の景色はビルばかりで驚きました。その後、4組は浅草寺へ行きました。雷門は迫力があり、仲見世通りではみんなで食べ歩きをしました。いちご飴とおだんごがすごくおいしかったです。観光客が思ったより多かったことや、小学生が通学路として浅草寺を歩いていたことに驚きました。

2つ目は1日目の夕食です。1日目の夕食はもんじゃでした。クラスのみんで集まって自分たちで作って食べる機会はほとんど無いので、貴重な経験になりました。みんなで協力して作ることができたし、いろいろな話をしながら食べることができたのでとても楽しかったです。クラスの仲がとても深まったと思います。

3つ目は班別自主研修です。最初は駅までの道を間違えたり、本当に道が正しいのかなど、不安なことも多かったけれど、時間を自分たちで調節したり、先生に連絡を取ったりして無事に班別自主研修を終えることができました。4組は多くの班が上野動物園へ行きました。帰りは20人ほどの人数で電車に乗りました。電車を降りて駅からホテルへ戻るときにみんなで一緒に歩いている楽しい雰囲気が印象に残っています。

私は修学旅行3日間で、みんなで協力し、安全に楽しく修学旅行を終えることができ、とてもいい思い出ができたと思います。この楽しい思い出ができたのも、修学旅行を計画してくださった

先生方や新潟交通の方、修学旅行費を払ってくださった保護者の皆様やバス研修を盛り上げてくださったバスガイドさんなど、修学旅行に関わってくださった多くの方々のおかげです。本当に感謝しています。そして、3日間楽しい思い出を一緒に作ってくれた2学年のみんな、本当にありがとうございました。

<私の学生時代 第7回 教諭 S >

【中学校時代のことを聞かせてください】

旧水原町出身です。1年生の頃から学年委員や生徒会本部役員として生徒会活動に頑張っており組んでいました。「ゴミのポイ捨てはやめよう」というアクリル板のポスターを作って地域に呼び掛けたり、地域のクリーン作戦を行ったりしたことを覚えています。中学生の時に作ったそのポスターがいまだに地域に掲示されています。部活動も力を入れて取り組みました。吹奏楽部で、トランペットを吹いていました。演奏することが大好きで、ひたすら練習しました。でも、時々練習の合間に友達とゲーム音楽を吹いたりしていたことも記憶に残っています。一番の思い出は、県大会に出場し、演奏したことです。上位に入賞できませんでしたが、大きな自信になりました。会場が上越だったので、大会前日に上越に泊まりました。宿で部活のみんなと楽しく過ごしたことも印象に残っています。

【高校時代は？】

やはり吹奏楽部に入りました。部活中心の毎日。成績が下がる一方で、部活の顧問の先生に「部活も大事だけど、勉強もしっかりやりなさい。」と活を入れられたのを覚えています。とても怖かったですけど、あの時、顧問の先生に言われなかったら今の私はなかったと思います。それから勉強にも力を入れて取り組みました。好きな教科は数学でした。正解にたどり着くまでの道筋を考えることが好きでした。一度考え始めると止まらず、夕ご飯を食べずに夜遅くまでのめり込んで解いていたこともありました。一番の思い出は、やはり部活動で、西関東大会に出場したことです。あれだけ練習してきたのに、本番で自分の力を発揮することができず、納得いなくて一人で悔し涙を流したことを今でも覚えています。

【どうしてこの職業を選んだのですか？】

「この問題、どうすればいいの？」と友達に勉強の質問をされることがよくあったのですが、なんとか説明して相手に「なるほど、わかった！」と言ってもらったことがとても嬉しくて、「ああ、教えるっていいな」と思ったことがきっかけです。

【北中生へメッセージをお願いします】

北中生は自分に正直で素直な生徒ばかりです。その素直さはとても大事なことだと思っています。どんどんいろいろなことを吸収し、自分の可能性を伸ばして行って欲しいと思います。

【最近ハマっていることは？】

最近ではないのですが、推理小説を読むことが大好きなのです。自分で実際に体験できない世界に入ることにワクワクするのです。時間があると本を読んでいます。

<栄光の記録 (敬称略) >

【第64回新潟県児童生徒絵画・版画コンクール】

絵画部門金賞 K 絵画部門金賞 S